臼杵市 施策評価シート
（令和3年度）

評価担当者	課名	氏名	内線
	総務課	柴田 監	2130

コード	Ⅵ-19-44	施策名	情報基盤の整備
施策の方針	情報基盤を整え使いこなす		
まちづくりの方針	社会基盤が整い、行動力ある市民が暮らすまち（社会基盤）		
5年後のめざす姿	市内全域の光化 により4K・8K 放送の受信環境を構築し情報基盤の強靭化及び高機能化を図ります。災害時等でも簡単確実に情報収集・発信を行うことができるようケーブルネットワークの活用を推進するとともに、最新技術の導入をめざします。		
施策の内容	伝送路強じん化（光化）構築事業を進めることで、災害にも強い施設とします。また、4K・8K放送が視聴可能な環境と、超高速ブロードバンド通信を可能とする情報基盤を整備します。 さらに、平成28年度からケーブルネットワーク事業を公設民営化したことでより充実したサービスを市民に提供しています。		

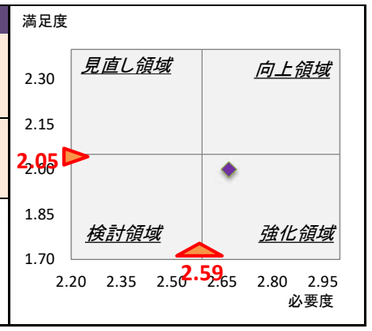
＜指標＞

新規指標	指標名	説明・算式・引用		単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	ケーブルネットワーク世帯接続率【累計】	臼杵ケーブルネット株式会社及び臼杵市（ケーブルネットワークサービスに加入している一般世帯の割合）	目標	%		83.0	84.0	84.0	85.0	85.0
			実績		82.0	83.0	83.7			
			達成率	%		100.0%	99.6%			
	ケーブル光化率【累計】	臼杵ケーブルネット株式会社及び臼杵市	目標	%		95.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績		90.0	95.0	100.0	-	-	-
			達成率	%		100.0%	100.0%			
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						

指標の分析	CATV事業については、平成27年度から取り組んでいる伝送路強じん化（光化）構築事業は、令和3年度中に市内すべての地域で工事が終了し、4K・8K放送が視聴可能な環境と超高速ブロードバンド通信が可能となりました。また、平成28年度からの公設民営化により、更なる充実した市民サービスを提供することにより、加入率が増加しています。ケーブルテレビの更なる加入世帯を増やすため、自主放送を活用した災害時の迅速な情報発信等を目指します。

＜市民意識調査結果＞

市民意識調査結果（R3調査）	領域名	必要度	満足度
	強化領域	2.67	2.00
	令和3度実施のアンケート結果では、「必要度」が高く、「満足度」は低い「強化領域」に位置しており、取り組みの強化が求められています。		
市民意識調査結果分析	昨年度のアンケート調査に比べ、「必要度」のポイントが上がりましたが、「満足度」には変化がありませんでした。今後は市民に対してコミュニティCHの充実及び高速通信を活用したサービスを提供し、「満足度」を上げていく必要があります。		



＜次年度以降の課題＞

令和4年度以降の課題	伝送路強じん化（光化）事業の完了に伴い、コミュニティCHの4Kコンテンツの作成や放送、超高速通信を利用した新規サービス、行政利用、地域イントラネットなど新技術を注視し有効活用を検討する必要があります。また、市内全域に敷設された伝送路を活用し、市役所の業務の在り方にも活用できないか検討を行う必要があります。

＜施策を構成する主な事務事業一覧表＞

	事務事業名	事業内容	担当課※実施した課を記入	課の重点※運営計画記載	事業費（単位：千円） R2年度実績	R3年度実績	令和4年度年度見込み	課長評価	公共5ヵ年	他の関連施策コード
1	伝送路の再構築（光化）	4K・8K放送の視聴可能となり、大容量の双方向通信サービスが可能となる伝送路の再構築（光化）工事を行います。	総務課	○	660,319	268,582	21,420	継続		
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
			合計		660,319	268,582	21,420			

＜施策の今後の展開　～担当課長評価＞

進捗状況		課長評価
順調	市内全域に敷設された伝送路を活用し、市民サービスの向上に向けた活用方法の検討に入ります。	目標を達するため、施策内容を再検討（見直し）する

＜施策の今後の展開　～内部評価（内部検討会）＞　　※以降の評価は、令和3年度～令和5年度の3カ年に分けて実施予定。

実施年度		内部評価
令和4年度実施	指標の実績の推移が、ほぼ達成していて、順調に推移しています。 設備の整備は完了し、今後は市民サービスの利活用に向けた検討に入るため、発展的な再検討（見直し）が必要であることとしました。	目標を達するため、施策内容を再検討（見直し）する

＜臼杵市行財政活性化推進委員会による外部評価：最終＞

外部評価	評価のコメント
検討	ハード整備の終了に伴い、今後はより活用にできるような強化を図ってほしい。また、ケーブルTVについても、世代にあわせた情報発信のあり方を検討してほしい。

＜臼杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組＞

設備の整備が完了したため、今後は市民サービスの向上のための検討を行い、様々な場面での利活用に努めたい。